



桜花 咲きかも散ると 見るまでに 誰かもここに 見えて散り行く

巻12—3129 柿本人麻呂

桜花が咲いたかと思うと、すぐ散ってしまう。そんなふうに見えるほどに、どこの誰だろう。この目の前に現れてはすぐに散り散りに去っていくのは。

入学式、入園式で伝えたこと!

満開だったサクラの花が入園式・入学式までもってほしいという想いが叶い、少し花びらが散りかけたものの何とかもってくれました。

学校・園は、4月6日(月)に始業式を迎え、7日(火)には小学校の入学式が、8日(水)に中学校の入学式が、10日(金)に幼稚園・こども園の入園式がありました。私はそれぞれの学校・園で教育委員会からの告辞を心を込めて読みました。



小学校では、あいさつの大切さとして、登校中に会った人には、大きな声で、「おはようございます。」とあいさつをすることとあいさつをすれば、お互いに元気がわいてくること。そして、人をつなぐ素敵な言葉には、もう一つ、「ありがとうございます。」という感謝の言葉があること。この「おはようございます。」と「ありがとうございます。」の二つの言葉をいつでも言える人になってほしいと話しました。また、保護者の皆さんには、これからの人間形成にとって大切な義務教育が始まり、子どもの成長には、「早寝、早起き、朝ご飯」など、学校と家庭とが一体となって基本的な生活習慣づくりに努めてほしいことなどを話しました。

中学校では、自分でしっかりと計画を立て、自ら実行する習慣を身に付けて、一日一日を大切に、努力を惜しまず、積極的に物事に取り組み、皆さんの目標や夢を達成してほしい。そして、思春期とよばれるこの時期は、自分の可能性を発見する時期でもあり、チャレンジすることを恐れず、立ち止まることなく、前に向かって進んでほしいと伝えました。

こども園では、小学校と同様、約束事として、毎日、あいさつをしてほしいと。朝起きたらお家の人に「おはようございます。」、園に来たら、先生やお友達に「おはようございます。」と大きな声ではっきりとあいさつすること。あいさつをすれば、とても気分が良く元気になることを話しました。また、保護者の皆さんには、園での出来事やお友達のことなど、話をたくさん聞いてあげてほしい。そうすることで、なんでもどンドンお話ができるようになり、やる気や元気が出てきて園に行くのが楽しみになります。また、お子様が頑張ったときには思いっきり抱きしめてあげてほしいと話しました。



これから始まる学校生活や園生活では、楽しいことやうれしいことだけではなく、当然、辛いことや失敗する経験も数多くあります。私はいつも言っていますが、できたという成功体験は自己の自信や自尊感情を高めます。それ以上に挫折などの

失敗体験を多く経験し、その失敗を乗り越えることができたなら成功体験より、もっともっと大きな強さにつながると考えています。とにかく、子どもたちには様々な経験を積んでほしいと思います。前途あるすべての子どもたちにエールを贈ってください。

教育委員会関係団体の取組

令和8年度 教育委員会の主要事業について

令和8年第1回広陵町議会(3月議会)招集の日に、令和8年度における吉村町長の施政方針とともに、私の教育長としての施政方針を述べさせていただきます。

下記に、令和8年度の教育委員会が進める主要事業をお示しします。

- 「広陵町教育大綱」及び「スポーツ推進計画」を内包した「第2期広陵町教育振興基本計画」の策定
- 小中学校体育館に空調設備を設置【新規】
- 小中学校の給食費無償化【新規】
- 広陵中学校区における学校施設等再編基本構想の策定【新規】
- フリースクール利用料の助成【新規】
- インクルーシブ教育推進事業【継続】
- 3年生を対象とした広陵放課後塾(かぐやちゃん教室)の実施(町内全小学校を対象)【継続】
- 特別支援教育のより一層の充実及び全小中学校への通級指導教室の設置及びその連携とその充実【継続】
- 不登校の児童生徒に対する訪問支援事業【継続】
- かしのきクラブ(東小学校放課後子ども育成教室)の専用施設改修事業【新規】
- 放課後子ども育成教室委託事業【継続】
- 子どもの居場所づくり事業の充実【新規】
- 部活動外部指導員の配置及び部活動の地域展開に向けた地域クラブ等への運営支援【継続・新規】
- GIGAスクール構想の一人1台パソコン端末の配付によるICT教育の充実とICT支援員の配置【継続】
- 文化芸術推進基本計画によるライフステージに応じた多様な学習機会の提供及びスポーツフェスティバル等のスポーツ振興の充実【継続】
- 世代間交流事業の広陵町魅力再発見ウォークの開催【継続】
- 図書館と学校図書館の連携事業及び「まちじゅう図書館」の設置箇所の拡充【継続】
- 特別史跡巣山古墳の整備事業(最終年度)の推進、文化財の観光資源としての活用【継続】



現行の広陵町教育大綱には、教育理念として「輝く未来のために ともに学び つながり合う いい人づくり」を謳っています。このスローガンは、本町の次代を担う子どもたちが、確かな学力、豊かな心、たくましい身体からなる「生きる力」を身に付け、どんな困難にも打ち勝ち、未来を切り拓いていってほしいという想いが込められています。これらの想いを実現するために、以上の主要事業を令和8年度に進めます。

今年も思い出に残るバイキング給食が！

今年も3月12日(木)に、町内小学校の6年生を対象にしたバイキング給食を実施しました。この取組は一昨年に実施したこども会議で、「『笑顔あふれる学校、笑顔あふれる広陵町』」にするために、子どもたち一人一人の要望・意見を出し合い、話し合ったことの一つに、「バイキング給食をしたい」というものがありました。その要望を受けて、昨年の3月に実現したものです。

昨年は、山村町長や松井副町長とともに、バイキング給食を提案してくれた東小学校に試食に行きましたが、今年は、吉村町長、中川副町長とともに北小学校に試食に行きました。

体育館では、2つのクラスが口の字型に分かれての会食会風のレイアウトで、私たちはそれぞれに案内されたテーブルにつかせてもらいました。その後、テーブルに準備されたバイキング給



食として、事前に選択した主食(ハニーロール・レーズンパン・メロンパンから2種類)、主菜(ウイナー卵巻き・白身魚フライ・レモンバジルナゲットから2種類)、デザート(ブルーベリータルト・ヨーグルト・リンゴから1種類)、そして、全員同一の副食のブロッコリーソテーと野菜たっぷりスープをバイキング形式で一人一人がトレーに載せていく方法で配膳をしました。

その後、子どもたちは早く食べたい気持ちを抑えて、栄養教諭の先生からバイキングのルールなどについての話を聞いた後、吉村町長の「いただきます。」の合図で一斉に食べ始め、楽しい会食会となりました。

私は隣や斜め前の子どもたちにどんな理由で主食や主菜を選んだのかを聞いたり、小学校での思い出や中学校に入学したときの夢や希望を聞いたりしての楽しい食事となりました。どの



子たちも満面の笑みを浮かべてのバイキング給食はとても楽しそうでした。今年度も実施して本当によかったと思いました。

今回も5つの小学校から、バイキング給食を終えてのアンケートが子どもたちや先生方から寄せられました。ある子は、「みんなと輪になってバイキング給食を食べたのが楽しかった。全部おいしくて、お腹いっぱいになりました。一つ一つについてくる『卒業おめでとう』が、とてもうれしかったです。私たちのために一生懸命作ってくださりありがとうございました。」というおいしかったことと感謝の気持ちを書いてくれました。また、ある子は「お世話になった先生方と話しながら食べて、いい思い出になって本当に楽しかった。すごくおいしくて一つ一つ大事に食べました。」という先生との大切な思い出を書いてくれました。ある先生からは、「バイキング給食は、自分で選べるし好きな給食がたくさんあっておかわりもでき、食材を無駄にしないでいいです。」や「調理員さんや栄養士さんがいつもおいしい給食を作ってくれていたんだということを実感できた時間でもあり、卒業式に向けてとてもいい時間を過ごすことができた。」という感想をいただきました。とにかく、アンケートの結果は肯定的な声ばかりでした。この取組は、今後も卒業を目前に控えた子どもたちへの大きな思い出づくりになることを確信しました。

ランドセルカバー、スタッフベスト、本をいただきました！

3月18日(水)の午後、交通安全協会広陵分会の皆さんと香芝署交通課の方が役場庁舎に来ていただき、小学校に入学してくるピカピカの1年生のために黄色のランドセルカバーを寄贈していただきました。

また、3月26日(木)の午前にも、交通安全協会広陵分会の皆さんがさわやかホール^{さわやかホール}の教育長室に来ていただき、広陵西小学校の中尾校長先生に、先生方が見守りに使う交通安全スタッフベストを贈呈していただくとともに、各小学校に交通安全に関する絵本や物語本を寄贈していただきました。

春の交通安全運動が始まっているこの時期には、車を運転されている方々には、交差点^{交差点}などで横断歩道などを渡る子どもたちがいたら、一旦停止をして安全に横断する子どもたちを見守ってあげてほしいです。

また、黄色のランドセルカバーを付けた子どもたちはピカピカの1年生ですので、地域の人や車を運転する方々には、「気をつけて登下校してね。」などの声かけと温かなまなざしでの見守りをお願いしたいと思います。



詩のコーナー



四月

金子 みすゞ

新しい脚本、
新しい鞆^{かばん}に。



新しい葉っぱ、
新しい枝に。



新しいお日さま、
新しい空に。



新しい四月、
うれしい四月。

